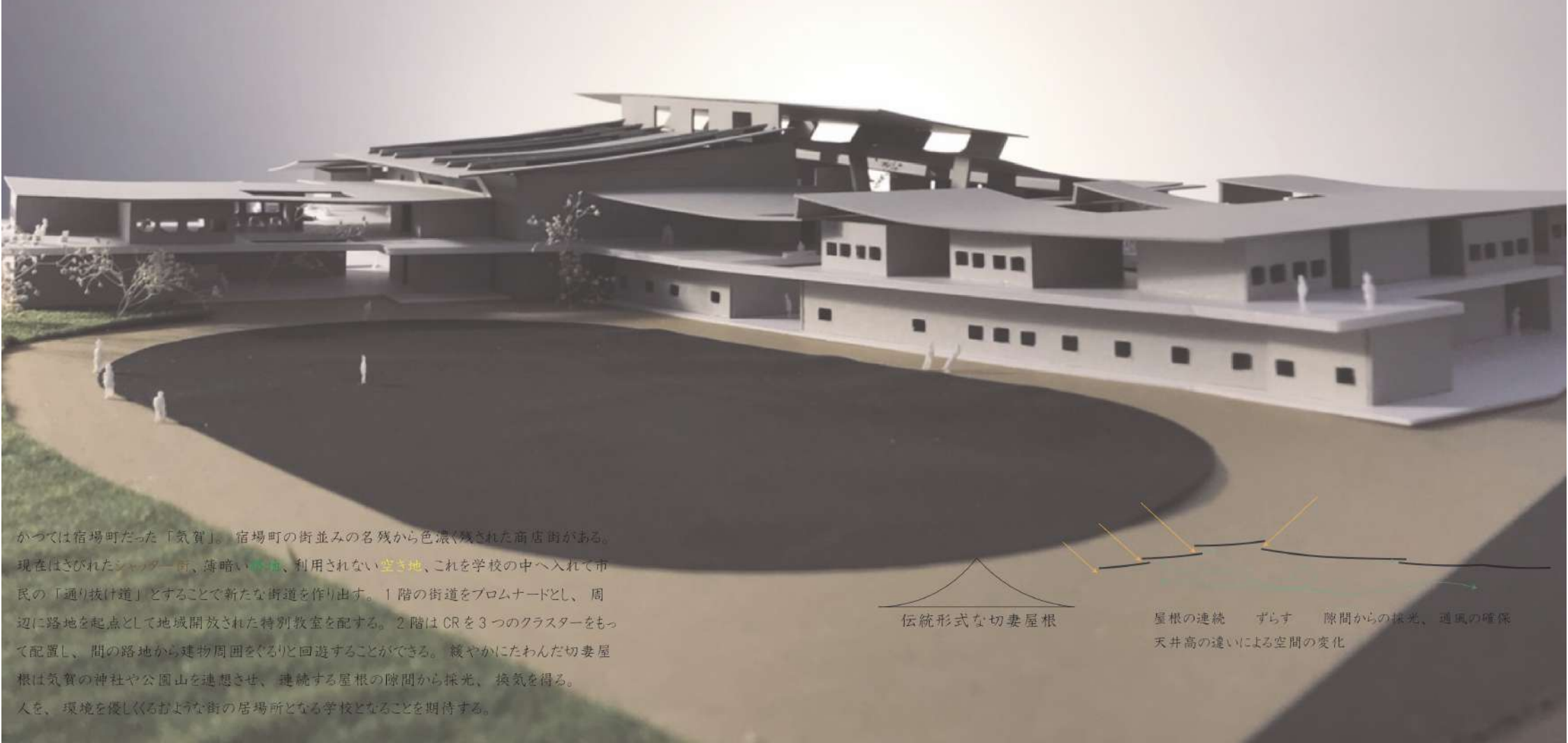
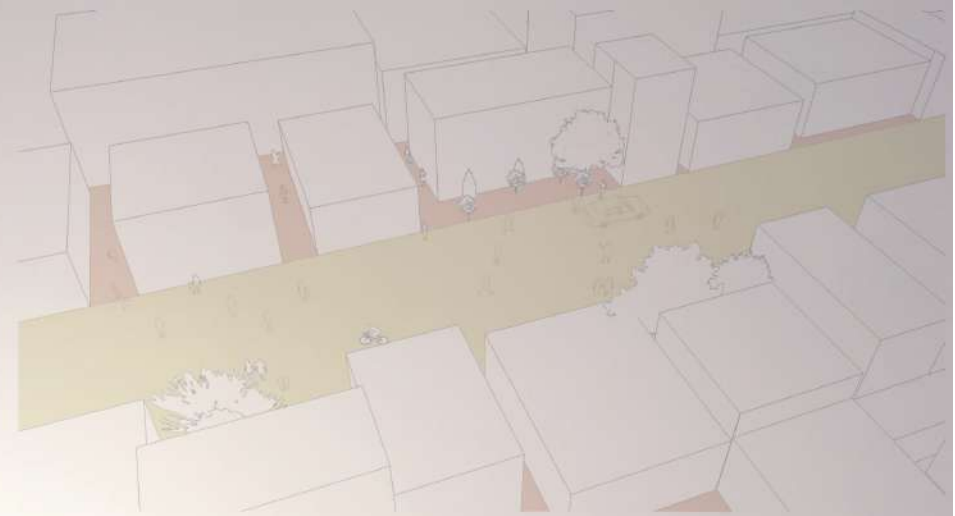
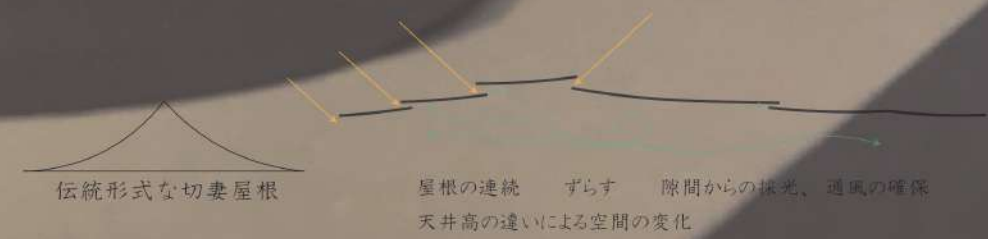


来未 kurumi



かつては宿場町だった「気賀」。宿場町の街並みの名残から色濃く残された商店街がある。現在はさびれたシャッター街、薄暗い路地、利用されない空き地、これを学校の中へ入れて市民の「通り抜け道」とすることで新たな街道を作り出す。1階の街道をプロムナードとし、周辺に路地を起点として地域開放された特別教室を配する。2階はCRを3つのクラスターをもって配置し、間の路地から建物周囲をぐるりと回遊することができる。緩やかにたわんだ切妻屋根は気賀の神社や公園山を連想させ、連続する屋根の隙間から採光、換気を得る。人を、環境を優しくするおよなな街の居場所となる学校となることを期待する。



伝統形式な切妻屋根

屋根の連続 ずらす 隙間からの採光、通風の確保
天井高の違いによる空間の変化